

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（1組：2・3・4・5・6・7組：8組： ）

使用教科書：（政治・経済資料2026（とうほう））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び政治や経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を願うことや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地方自治と住民福祉 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解させる。 ・地方がかかえる課題についてさせる。	・地方自治と住民福祉 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 地方自治の本旨である、団体自治と住民自治について理解している。住民自治に基づく住民の権利について理解している。 【思】 地方自治の政治・経済的な課題について、地方自治の本旨に基づいて考察している。 【主】 地方が抱える問題について、身近な問題として解決について考えようとしている。		○	○	3
	政党政治 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解させる。 選挙制度 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解させる。	・政党政治 ・選挙制度 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 【思】 日本の政党政治の課題について、「政治資金」や「政党間の競争」といった観点に立ちながら考え、適切に表現している。より公正な選挙制度のあり方について多面的に考察し、適切に表現している。 【主】 政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。		○	○	6
	定期考査			○	○		1
	財政の役割と租税 ・財政の持つ様々な役割について考えさせる。 ・納税者としての立場から租税のあり方について考えさせる。 ・日本の財政の現状を理解し、これからの財政のあり方を考えさせる。	・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 財政に求められる機能について理解している。主要な直接税と間接税について、各税を増税した場合のメリットとデメリットを適切に整理することができる。 【思】 一般会計の歳入・歳出について、背景を考察し適切に表現している。プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について、多面的・多角的に考察している。 【主】 公平な税負担について、主体的に考えを導きだそうとしている。		○	○	4
	社会保障の役割と課題 ・少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら、今後の課題を理解させる。	・社会保障の役割と課題 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 【思】 日本の社会保障制度の現状と課題について、多面的・多角的な観点（少子高齢化、年金制度、負担と給付のバランス）に立ちながら考察し、適切に表現している。 【主】 社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。		○	○	6
	経済社会の変容 ・資本主義経済と社会主義経済について理解させる。	・経済社会の変容 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 【思】 資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 【主】 資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学期	経済主体と市場の働き ・経済主体を理解させる。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考えさせる。 ・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考えさせる。	・経済主体と市場の働き ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 【思】 市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主】 市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		○	○	4
	企業の役割 ・企業の役割と社会的責任について考えさせる。 成長と国民の福祉 ・経済成長や景気変動の要因を理解させる。	・企業の役割 ・経済成長と国民の福祉 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 有限責任と無限責任の考え方について理解している。 【思】 企業が従業員をはじめ、消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現している。 【主】 企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して、企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		○	○	6
	金融の役割 ・金融を通じた経済活動の活性化について考えさせる。 日本銀行の役割 ・中央銀行の役割について理解する。	・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。 【思】 景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、多面的・多角的に考察している。 【主】 金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。		○	○	6
	定期考査			○	○		1
	日本経済の成長と課題 ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。	・日本経済の成長と課題 ・教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知】 戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 【思】 2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察している。				

